



和気香風

大沢中学校三訓
創造・敬愛・至誠

日光市大沢町97番地
TEL0288-26-0017

おおらか さわやか one team 大沢中
～共に築こう 違いを認め合える社会を～

令和2年 7月31日発行

3年生最後の交流試合開始

新型コロナウイルス感染症対応のため、栃木県総合体育大会が中止となりました。そのため、残念ながら日光地区の大会も中止となってしまったので、3年生最後の大会のかわりに、各競技で日光市内の学校との交流試合が行われました。大会に負けないほどの好試合を見せてもらいました。それではイベントのあった部活動の様子をご紹介します。

*剣道部、総合技術部、吹奏楽部の活動の様子については次回掲載する予定ですのでご了承下さい。

<バスケ男子>



<バスケ女子>



<テニス>



<サッカー>



<野球>



<バレーボール>



<ホッケー>



<陸上競技>



<卓球部>



<総合家庭部> 陶芸教室の様子



三ヶ月間思うように練習できなかった状況ながら、仲間と精一杯プレーする姿のすがすがしさ、また日本の伝統文化を知り、そして新しいものを創造しようとする姿は「おおらか さわやか one team」にふさわしいものだと思います。

3年生の皆さんお疲れ様でした。

<学校だより和気香風8月はお休み致します>

今後の主な予定について

・10月1日（木） 校内運動会

*残念ながら、新型コロナ対策のため参観、公開はいたしませんのでご了承下さい。ただし、卒業アルバム制作業者による写真のネット販売を予定しています。

*今後も新型コロナウイルスの感染の状況により、予定の変更等が多々あるかと思えます。よろしくお願い致します。

<2学期に向けて> ～ 日 本 の 夏 ～



日本の夏に欠かせないものといえば花火、海水浴、プール、盆踊り、等々。そして忘れてならないことは恒久平和の願いのための8月6日、9日、15日の記念の日です。さて、最近ではあまり見かけなくなった写真のしょうゆ卓上瓶^{びん}ですが、日本の夏に大い

に関係があることを知りました。この醤油差しをつくったのは、工業デザイナーの故榮久庵 憲司^{えくあん}さんという方です。かなり有名なものをいくつもデザインしているので調べてみて下さい。この方は広島市でお寺の次男坊として育ち、戦時中は一旦県外に出ます。8月6日の原爆で家族をなくし、父の跡を継ぐため1945年15歳の時、8月の終わりに広島市へ。実家のお寺は爆心地から500メートルのところにあつたそうです。見渡す限りのがれきと焼け野原、遠くできらきら光るきれいな瀬戸内の海とのコントラストが妙に印象に残つたと言っています。その光景を見た彼は、この地を自分がつくつたものでいっぱいにしてやると思つたそうです。戦後の日本の復興期、そして、1961年に、この多くの工夫が施されたこのしょうゆ卓上瓶が生まれます。日本の高度経済成長をささえた人々の食卓、まさに家族団らん、平和で幸福な生活を象徴するかのようにな各家庭のちゃぶ台にはこの醤油差しの姿があつたと思つています。

自分の家族を奪われ、育つた街の荒れ果てた姿をみたのに、恨みつらみではなく、まず復興を誓うなどということをするのはできるのだろうか。戦争を知らない世代ですが、いろいろと考えさせられます。同時に「勝つ^か（克つ）こと」とはどういうことかをこのことから感じた気がしました。

今年の8月6日も押すとチューっと出る最近の醤油差しを使いながら、またこのことを考えると思つています。短い夏休みですが、新型コロナ感染対策をしながら、日本の恒久平和を誓うとともに、皆様にとってよい夏休みとなるように祈つております。2学期もよろしくお願い致します。

日光市立大沢中学校長 上祢 政夫